



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月13日
上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社
 コード番号 4963 URL <https://www.seikopmc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 井内 秀樹 TEL 03-6202-7331
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	20,740	8.6	1,949	38.4	1,962	31.1	1,397	21.3
2018年12月期第3四半期	19,093	4.8	1,408	△8.5	1,496	△13.1	1,152	△16.9

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 1,374百万円 (26.2%) 2018年12月期第3四半期 1,089百万円 (△29.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	46.10	—
2018年12月期第3四半期	38.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	34,480	26,186	72.3
2018年12月期	32,149	24,112	75.0

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 24,946百万円 2018年12月期 24,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2019年12月期	—	8.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,280	5.4	2,450	24.4	2,520	21.2	1,810	15.9	59.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名） 新綜工業股分有限公司

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	30,743,604株	2018年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	422,243株	2018年12月期	422,243株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	30,321,361株	2018年12月期3Q	30,321,480株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で個人消費が緩やかな回復基調で推移しているものの、企業収益にかけりがみられるなど、景気に足踏み感がみられました。また、米中貿易摩擦の激化による世界経済の減速懸念もあり、依然として先行きは不透明な状況となりました。

当社グループの主要販売先におきましては、製紙業界・印刷インキ業界の需要がともに前年を下回るなど、不透明な経営環境が続きました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努め、また、第1四半期連結会計期間より連結子会社となった新綜工業股份有限公司が加わったことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,740百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

利益面では、新綜工業股份有限公司が連結対象に加わったこと、売上原価の低減を図ったことなどにより、営業利益は1,949百万円（前年同期比38.4%増）、経常利益は1,962百万円（前年同期比31.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,397百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は1,912万トンと前年同期比1.5%の減少でありました。当社グループは、国内市場、中国市場へ差別化商品の売上増加に努めましたが、中国における売上の減少により、当事業の売上高は、12,687百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

利益面では、売上原価の低減を図ったことなどにより、セグメント利益は1,335百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

・樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は23万5千トンと前年同期比3.4%の減少でありました。需要が減少傾向となる中、当社グループにおいては、印刷インキ用樹脂・記録材料用樹脂の売上高は減少いたしました。新綜工業股份有限公司が連結対象に加わったことにより、当事業の売上高は、5,161百万円（前年同期比36.7%増）となりました。

利益面では、新綜工業股份有限公司の連結対象化に加え、製品販売構成の高付加価値化が進捗したことにより、セグメント利益は531百万円（前年同期比192.9%増）となりました。

・化成品事業

化成品事業の売上高は、主力製品の輸出売上の増加などにより2,891百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

利益面では、売上高が増加したことなどにより、セグメント利益は356百万円（前年同期比21.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

(流動資産)

新綜工業股份有限公司の連結子会社化などによる現金及び預金の増加、及び受取手形及び売掛金の減少などにより流動資産は20,572百万円(前連結会計年度末比224百万円増)となりました。

(固定資産)

新綜工業股份有限公司の連結子会社化による有形固定資産の増加、及び投資有価証券の減少などにより固定資産は13,907百万円(前連結会計年度末比2,106百万円増)となりました。

(流動負債)

支払手形及び買掛金の減少、賞与引当金の減少などにより流動負債は7,194百万円(前連結会計年度末比175百万円減)となりました。

(固定負債)

新綜工業股份有限公司の連結子会社化による長期借入金の計上、退職給付に係る負債の減少などにより固定負債は1,099百万円(前連結会計年度末比433百万円増)となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当などにより純資産は26,186百万円(前連結会計年度末比2,073百万円増)となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は72.3%となりました。また、有利子負債残高1,478百万円を自己資本で除した倍率(D/Eレシオ)は0.06倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績は、概ね計画どおりに推移しており、2019年8月7日公表の業績予想に修正はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,421,385	2,938,217
受取手形及び売掛金	10,664,515	9,498,767
電子記録債権	1,368,324	1,134,738
商品及び製品	2,184,805	2,212,867
仕掛品	351,125	390,554
原材料及び貯蔵品	1,170,695	1,009,256
短期貸付金	2,939,040	3,090,310
その他	253,358	310,823
貸倒引当金	△4,964	△12,637
流動資産合計	20,348,285	20,572,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,445,747	2,703,735
機械装置及び運搬具(純額)	2,024,894	2,101,342
土地	4,466,994	6,564,454
その他(純額)	479,268	996,746
有形固定資産合計	9,416,904	12,366,278
無形固定資産	74,145	68,161
投資その他の資産		
投資有価証券	1,901,919	899,977
その他	455,873	624,394
貸倒引当金	△47,894	△50,997
投資その他の資産合計	2,309,898	1,473,374
固定資産合計	11,800,948	13,907,814
資産合計	32,149,234	34,480,713

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,934,200	3,710,232
短期借入金	730,000	730,000
未払法人税等	279,873	224,813
賞与引当金	550,685	394,341
1年内返済予定の長期借入金	—	71,224
その他の引当金	—	46,425
その他	1,875,203	2,017,458
流動負債合計	7,369,963	7,194,494
固定負債		
長期借入金	—	676,878
役員退職慰労引当金	15,925	7,800
退職給付に係る負債	555,700	313,073
資産除去債務	85,448	86,025
その他	9,706	16,008
固定負債合計	666,780	1,099,786
負債合計	8,036,743	8,294,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,566,178	1,576,265
利益剰余金	20,999,994	21,912,699
自己株式	△105,272	△105,272
株主資本合計	24,460,900	25,383,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309,511	281,261
繰延ヘッジ損益	△1,000	204
為替換算調整勘定	70,156	△51,525
退職給付に係る調整累計額	△727,077	△667,391
その他の包括利益累計額合計	△348,410	△437,451
非支配株主持分	—	1,240,192
純資産合計	24,112,490	26,186,432
負債純資産合計	32,149,234	34,480,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	19,093,084	20,740,512
売上原価	14,260,419	15,140,906
売上総利益	4,832,665	5,599,605
販売費及び一般管理費	3,423,832	3,650,341
営業利益	1,408,832	1,949,264
営業外収益		
受取利息	7,783	8,087
受取配当金	14,510	15,019
仕入割引	11,176	10,812
持分法による投資利益	67,027	—
補助金収入	—	20,198
その他	40,344	42,219
営業外収益合計	140,842	96,336
営業外費用		
支払利息	2,183	9,875
売上割引	4,076	3,670
為替差損	40,358	65,477
その他	6,379	4,576
営業外費用合計	52,998	83,600
経常利益	1,496,676	1,962,000
特別利益		
固定資産売却益	230	142
会員権売却益	696	—
負ののれん発生益	—	85,367
特別利益合計	926	85,510
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産除却損	5,608	17,971
貸倒引当金繰入額	—	4,000
段階取得に係る差損	—	59,043
その他	50	—
特別損失合計	5,664	81,014
税金等調整前四半期純利益	1,491,938	1,966,496
法人税、住民税及び事業税	426,906	495,013
法人税等調整額	△87,564	△40,502
法人税等合計	339,342	454,510
四半期純利益	1,152,596	1,511,986
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	114,139
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,152,596	1,397,846

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,152,596	1,511,986
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56,871	△28,250
繰延ヘッジ損益	1,912	1,205
為替換算調整勘定	△85,700	△170,609
退職給付に係る調整額	50,320	59,686
持分法適用会社に対する持分相当額	26,857	—
その他の包括利益合計	△63,481	△137,968
四半期包括利益	1,089,114	1,374,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,089,114	1,308,805
非支配株主に係る四半期包括利益	—	65,212

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結累計期間より、持分法関連会社であった新綜工業股份有限公司の株式を追加取得したことにより連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,824,254	3,776,204	2,492,624	19,093,084	—	19,093,084
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	120,611	468,331	7,173	596,116	△596,116	—
計	12,944,866	4,244,536	2,499,797	19,689,200	△596,116	19,093,084
セグメント利益	1,176,346	181,478	292,683	1,650,508	△241,675	1,408,832

(注) 1. 売上高の調整額△596,116千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△241,675千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,687,837	5,161,150	2,891,524	20,740,512	—	20,740,512
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	81,607	458,227	16,455	556,289	△556,289	—
計	12,769,445	5,619,377	2,907,979	21,296,802	△556,289	20,740,512
セグメント利益	1,335,889	531,507	356,244	2,223,641	△274,377	1,949,264

(注) 1. 売上高の調整額△556,289千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△274,377千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「樹脂事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に持分法適用会社の新綜工業股份有限公司の株式を追加取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益85,367千円を計上しております。また、株式の追加取得時において段階取得に係る差損59,043千円を合わせて計上しております。